

使った水をキレイにして還す

熊本の水環境を守る下水道

9/10月
下水道の日



調査に協力してくれた
竹本ファミリー

家庭から出る下水の量を 調べてみました！



なんと1日に1188ℓもの水を流していた！
熊本市に住む竹本さん一家は、3人の小学生がいる5人家族。下水道のことを考えるにあたって、1日にどのくらいの水を下水道に流しているのかを調べてみることにしました。お風呂、トイレ、洗面所などで、家族全員が協力して計測。すると、1日で1188ℓもの汚れた水を流していることがわかりました。これだけの水が、この後どうなっていくのか、気になり始めた竹本家の皆さん。一体、家から出た下水はどこに流れていくのでしょうか。

歯みがきや洗面、手洗いなどで使う洗面所では、5人で計33分間、水を流していました



節水機能が付いた家電を選んでいるという竹本家

結果発表！ 竹本家の1日の下水量は？

お風呂	浴槽にためた回数 0回×200ℓ=0ℓ
	シャワーの使用時間 40分×6.5ℓ=260ℓ
	お風呂の合計 260ℓ
トイレ	水を流した回数 18回×4ℓ=72ℓ
洗面所	水を流した時間 33分×12ℓ=396ℓ
台所	水を流した時間 30分×12ℓ=360ℓ
洗濯	洗濯した回数 1回×100ℓ=100ℓ
合計	1188ℓ

※庭木の水やり、車の洗車、料理に使う水などは含まれません

これが熊本市全体だと1日に25万1878トン！
これらの汚水が浄化センターに運ばれ、きれいな水になります

※上記数値は企業排水を含む

熊本市水の科学館でマンホールカードを配布しています



下水道を身近に感じてもらうために、マンホールふたのコレクションカードを全国の自治体で作っています。マンホールふたには、それぞれの地域にゆかりのある人物・生物・建物などがデザインされたものもあります。現在300を超える自治体の下水道関連施設や観光案内所などで無料配布されている、「カード型パンフレット」です。配布は熊本市水の科学館で行っています。

熊本市水の科学館 熊本市北区八景水谷1-11-1 ☎096(346)1100

24時間働き続けている「浄化センター」

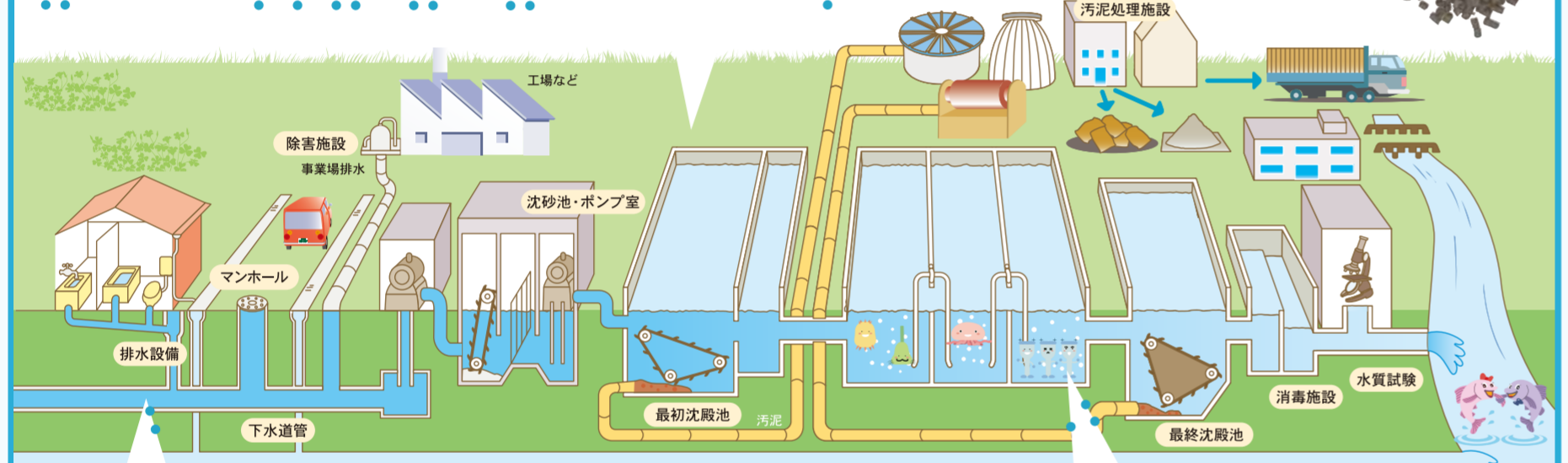
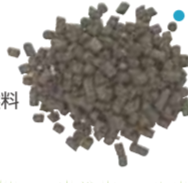
熊本市内で排出された汚水は、市が管理する中部・東部・西部・南部・城南町の5カ所の浄化センターと、県が管理する熊本北部浄化センター、宇土市が管理する宇土浄化センターに運ばれます。各浄化センター、終末処理場では、運ばれてきた汚水をきれいにした後、消毒して海や川に還す水処理と、その処理過程で取り除かれた汚泥を貴重な資源として100%リサイクルする汚泥処理を、昼夜を問わず24時間休みなく行っています。



汚泥は100%リサイクル！

熊本市では、水をきれいにするときに発生する汚泥(沈殿した汚れを集めたもの)を、セメントや堆肥(コンポスト)の原料にしたり、固形燃料に加工して、代替燃料として火力発電所に供給したりすることで、100%リサイクルを実現。また、汚泥を分解するときに発生するメタンなどを含んだガス(消化ガス)を発電事業に利用したり、浄化センターできれいになった水(再生水)を農業用水や浄化センター内での洗浄水などに活用したりしています。

汚泥から作った固形燃料



詰まり防止と地震対策

家庭や工場から排出される汚水を処理場まで運ぶ下水道の管きよ(地下水路)に、ごみや土砂がたまるないように、定期的に点検・清掃・修理を行っています。また、管きよ途中にあるポンプ場にも、故障やトラブルが起きないように、巡回・整備を行っています。
また、熊本市では平成25年3月に策定した「熊本市下水道総合地震対策計画」に基づき、設備の耐震化、下水道の機能のバックアップ対策、マンホールの浮上防止対策等をすすめています。



浄化センターのしくみ

微生物たちが大活躍

浄化センターでは、下水の水をきれいにするのに「微生物の力」を利用してしています。活性汚泥(細菌、原生動物、多細胞生物の微生物、菌類が集まってできたもの)と汚水を混ぜて空気を送り、水に溶けている栄養分(有機物)を微生物たちに食べさせます。おなかいっぱいになった微生物は、汚れと一緒に沈んでしまうので、きれいな上澄み水だけを消毒し、川や海に流しています。



動汰くん(小6)



下水に流す水を減らすためにも水のムダ使いをやめようと思いました。

思ったより洗面所で使っている水の量が多くてびっくりしました。

愛唯ちゃん(小4)



朱里ちゃん(小2)



トイレで流した水はどこに行くんだろう？

竹本和恵さん(39)



台所洗剤はエコなものを選んで環境に負荷をかけないように心掛けています。

私たちに今日からできること2

油や生ごみを台所から流さない

料理で使った油や生ごみを台所から流すと、下水道管内で油が固まり、汚水がスムーズに流れなくなります。悪臭や詰まりの原因となりますので、流さないようにしましょう。油は紙でふき取ると節水にもなります。

私たちに今日からできること1

トイレには溶けない紙などは流さない

紙おむつ、ティッシュペーパー、ごみなどをトイレに流すと、下水管が詰まり、トイレが使えなくなることがあります。トイレペーパー以外のものを流さないようにしましょう。

僕たちの生活に下水道はなくてはならないものなんだ



ワオツタくん

抽選で20名様にプレゼント!

熊本の水道に関する “おいしい”体験談、募集中!

熊本市上下水道局では、「熊本市に転入してきて、水道水のおいしさに感動した」「おいしい水道水を使うことで料理やコーヒーがおいしくなった」など、熊本の水道に関する「おいしい」体験談を募集しています。ご応募いただいた方の中から抽選で20名様にオリジナルのスリムボトルをプレゼント。さらに、12月14日発行予定のこのコーナーで、コメントを紹介させていただきます。体験談に氏名、年齢、住所、電話番号をお書き添えの上、ハガキまたはメールでご応募ください。
■応募先 〒860-8506 くまにち すぱいず
「熊本のおいしい水体験」係 ※宛先住所は不要です
■メール spice.spice@kumanichi.co.jp



水道・井戸・温泉水などを使用し、 下水道へ流されている方は 上下水道局への届出が必要です!



ご家庭で生活用水(トイレ・風呂・炊事・洗濯など)として使用された水道や井戸水などを下水道へ流される場合は、上下水道局への届出が必要です。また、水道水と井戸水を併用されている場合は、その合計使用水量について下水道使用料のお支払いが必要です。届け出をされていない方は、下記までご連絡をお願いします。
※熊本市上下水道局でも未賦課の調査を行っています。
■連絡先 料金課お客様センター ☎096(381)1118 FAX 096(381)1119

※下水道は公共施設なので、下水道を使用した時点からお支払いが発生します。また、使用料は公的な債権になりますので、地方自治法236条の規定に基づき、5年間は債権が残ることになります。上下水道局では、これまでお支払いいただいている方との公平性の観点から、使用開始日までのさかのぼってお支払いいただいております(最大5年間)。

9月10日は「下水道の日」。親子で参加できるイベントを開催します!

9月10日(月)は「下水道の日」です。熊本市では、公共用水域(川や海や湖)をきれいにし、街を浸水から守っている下水道を身近に感じていただくためのイベントを開催します。

下水道の日イベント in 新市街

日時/9月8日(土) 11:00~15:00
場所/サンロード新市街
内容/下水道パネルおよびマンホールふたの展示
下水道クイズとガラポン抽選会

■問い合わせ (公財)熊本市上下水道サービス公社 ☎096(288)7462

熊本市水の科学館

日時/9月2日(日)~9日(日)
下水道パネル展

日時/9月8日(土)・9日(日)
内容/マンホールトイレ展示会 終日
下水道ヨーヨー釣り、下水道分別ゲーム 10:00~15:00
※同日、先着50名様に下水道コンポストを無料配布!

■問い合わせ 熊本市水の科学館 ☎096(346)1100
熊本市北区八景水谷1-11-1